

決算審査(産業建設委員会)

産業建設委員会では決算審査を行うにあたり、第八次総合計画に掲げる、荒廃農地や耕作放棄地の再生による農地の有効活用、新たに農畜産業を志す就農者の確保や、後継者の育成、政策提言を行った森林環境譲与税の使途の拡大についてなどを中心に、予算から決算への連動、コロナが事業に与えた影響についても視点として審査に臨みました。主な質疑は以下のとおりです。

美しい農村、田園風景が保全できるよう取組の強化を

問 農地集積協力者に対する助成は予算540万円に対して決算額178万円で、前年決算の半分であり実績面積も半分である。その理由は。

答 実績としては新規就農者の方を加えると25件、約10.8ヘクタールという状況になっている。集積については毎年農家の皆様に意向調査のアンケートをとっているが要望が少なかった。



森林環境譲与税の使途

問 境界の明確化、部分的な整備、さらには委託料、工事請負費について、森林環境税の対応はどのように行ったのか。

答 令和3年度の森林環境譲与税の使途については、市民に広くお知らせするというで決算額をホームページに上げた。事業としては、100年先の森林づくりの整備事業の中で森林境界調査事業、災害に強い森林づくりのための重点区域森林整備、森林情報管理システムの構築を行った。また、これらを進めるためのマンパワーということで、林業事業者から3名の職員派遣をいただき森林経営管理アドバイザー等の配置に充てたほか、林業の担い手育成事業において、林業就業者の移住支援として3名の方へ支援を行った。

9月定例会

一 般 質 問

9月定例会では12人の議員が市政に対する一般質問を行いました。
今回は、田中新市長の市政運営の考え方についての質問が多くなされました。

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質するとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

一般質問は、充実した能率的な議会運営を行うため、原則としてあらかじめ通告しておくこととなっています。



市議会ホームページ
令和4年第6回定例会
一般質問通告書はこちら
からご覧いただけます



一般質問は、一問一答を基本とし、質問のみで1人40分としています。



QRコードから各議員の一般質問をご覧いただけます。
配信は会議録が調製され次第終了します。
(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)